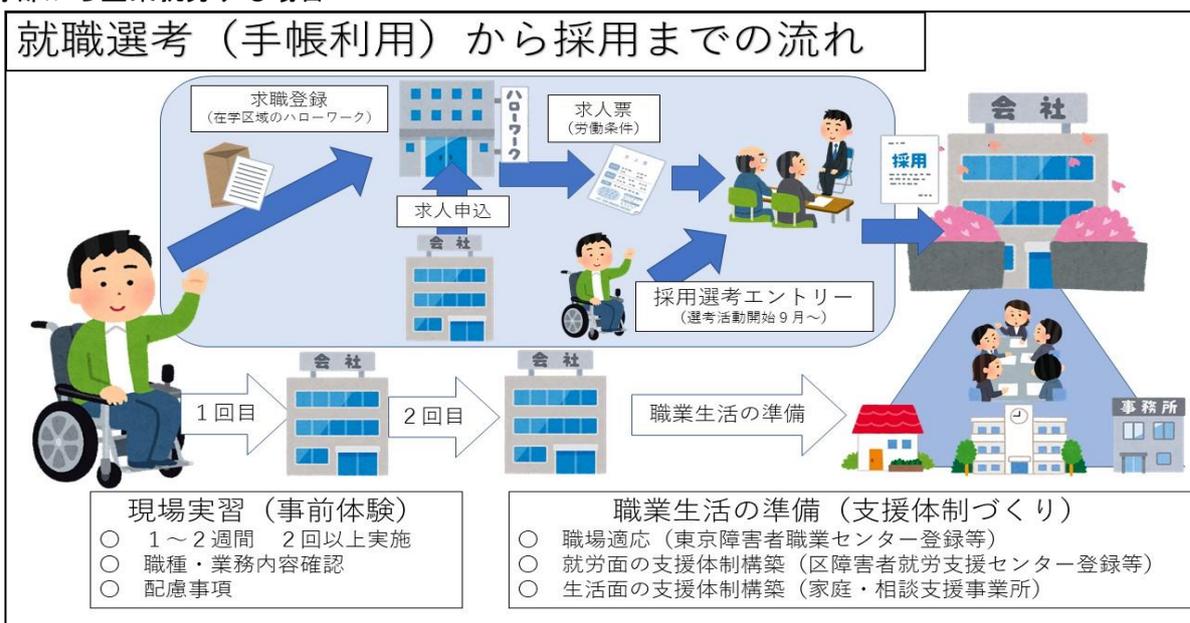


# 進路かわら版

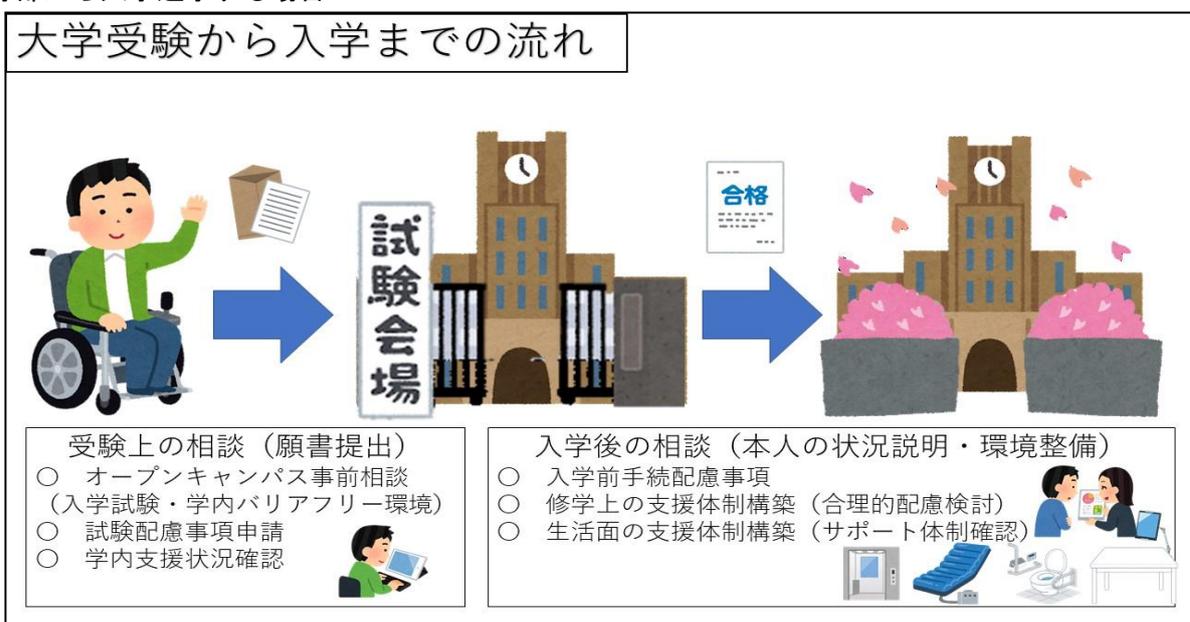
日頃より本校の教育活動に御理解いただきまして、感謝申し上げます。  
 前号の進路かわら版では、高等部の進路指導の流れについて紹介しました。また、進路かわら版12月号・1月号では、主な進路先である福祉サービスの利用決定の流れについて説明しました。  
 今回は、卒業後の生活ケース（進路かわら版9月号）にある企業就労の決定の流れと、大学進学の流れについて御紹介します。

## ☆ 企業就労・大学進学の流れについて

### □ 高等部から企業就労する場合



### □ 高等部から大学進学する場合



## ☆ ワンポイント編 必要な支援とは（進路かわら版5月号）

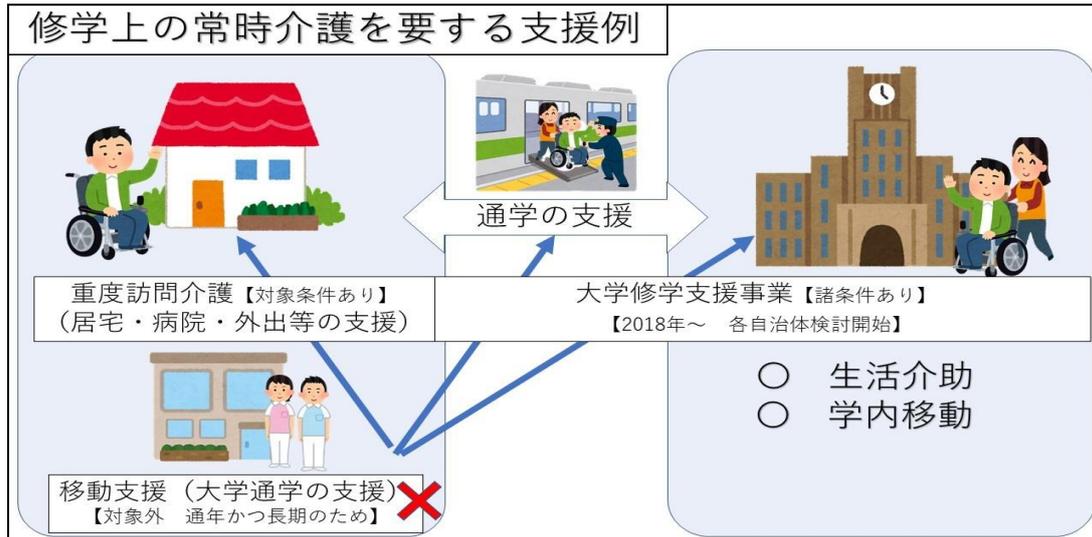
### □ 日中活動（生活・移動介助等）で必要な支援について考える力

- 自己理解・環境把握（小学部～）
- 伝える力（小・中学部～）
- 適応する力（高等部～）

→どのような支援を自分が受けていて、卒業後の進路先で実際どの程度必要かを説明できることが重要です。

☆ 社会参加への障壁がある場合の検討例（制度がない状況では、自費で対応されています。）

□ 大学進学における課題



(就労についても、2020年～ 重度障害者等就労支援特別事業 各自治体とJEEDで連携検討開始)

☆ ワンポイント編（卒業後の生活をイメージするための学習）

□ 卒業生講話によるロールモデルの学習(1月実施)



中学部・高等部から現在までの生活状況を講演！



中学部Bグループも参加！



高等部の生徒は、終了後個別に質問！

卒業生からのアドバイス

- ◎ 『現場実習等に取り組むまでに、自分のことをしっかりと知ろう！』
- ① 『自分でできることは、できる範囲で自分でみつけてやってみよう！』
- ② 『報連相をしよう！』
- ③ 『自分から発信しよう（できないことは、人が気付いてくれる前にお問い合わせしよう！）』

卒業生の 進路先決定 までの流れ	<p>卒業後の目標：企業就労したい</p> <p>『現場実習（B型）』企業就労の力を判定するために、まずはB型で実習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 実習の結果：作業の正確さ、報告・相談する力が不足</li> <li>→ 実習後、学校で練習 → 練習が評価され、現場実習で再挑戦</li> </ul> <p>『現場実習（ハローワーク）』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 実習の結果：前回と違う実習環境でも正確性、報告・相談する力が少し向上</li> <li>→ 現時点での自分の力を理解し、自分に少し自信がもてた</li> </ul> <p>『進路先決定』将来企業就労するためにB型事業所で働くことを自分で決意できました！</p>
------------------------	---